

事業者情報



代表者 穴迫 信一

所在地 なし

WEBサイト

<https://buru-egonaku.com/>

事業の基本情報

事業名 『広野町をガイドする』

実施地域 広野町

連携団体 未定
(予定)

Point

住民自らの記憶をもとに、地域に内在する風景を可視化する

事業概要

本プロジェクトは、福島12市町村の地域において、特定の場所に基づく住民自身の記憶や経験を起点とした演劇作品を創作・上演することで、地域に内在する時間や風景を舞台芸術の形で可視化する試みである。

「広野町をガイドする」をテーマに、公募で集まった住民が自らの思い出の場所を案内し、ツアーガイドの解説形式で個人の記憶を語る。

そのプロセスをもとに上演テキストを参加者とともに作成し、俳優が実際の場所にて上演する。

商店街や公園などパブリックな空間で、ベンチや喫茶店といった複数の場所をツアーのように移動しながら連続上演する「回遊型公演」を想定している。

演劇が外から持ち込まれるのではなく、土地と人との間で生成される形式とすることで、福島という土地の複層的な時間を住民自身の視点から立ち上げる。



 **事業期間中の主なイベント（スケジュールは予定です）** ※正式な情報は各事業者もしくは事務局へ問合せください。

Event 1

12月13日(土) ▶ 12月14日(日)

市民参加ワークショップの実施

広野町にて、地域住民との対話を通して演劇作品の素材を発掘することを目的としたワークショップを実施します。

参加者には、自身のお気に入りの場所やエピソードを他の参加者や私たちに向けて紹介（ガイド）してもらいます。これは個人の記憶を可視化し、その土地ならではの物語として共有されます。

<実施スケジュール> @多世代交流スペースぷらっとあっと

1回目：12月13日(土) 10:00-12:00

2回目：12月13日(土) 13:00-15:00

3回目：12月14日(日) 10:00-12:00

4回目：12月14日(日) 13:00-15:00

Event 2

12月27日(土)

成果物の発表

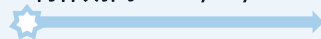
ワークショップでの体験や参加者の語りをもとに、最終的な成果物である演劇作品を制作します。

参加者が語った個人の記憶がテキストとして再構成され、俳優が演じることで、地域の日常に新たな視点をもたらします。公演の形態は地域の環境に応じて柔軟に設計し、必ずしも演劇の既存の形式にとらわれない多様な展開を模索します。

 **事業全体スケジュール（予定）** ※正式な情報は各事業者もしくは事務局へ問合せください。

2025年 8月 9月 10月 11月 12月 2026年 1月 2月

制作期間 2025/12/4~28



ワークショップ
2025/12/13~14



成果物の発表
2025/12/27

